

1 ページ
例

リスクアセスメント対象職場	実施担当者の実施日	実施担当者の実施日
工場		

役職				
氏名				

①作業名 (機械・設備)	②危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	③すでに実施している災害防止対策とリスクの見積り				④追加のリスク低減措置案と措置後のリスクの見積り				⑤措置実施日	⑥次年度以降に実施する低減措置案	⑦想定される残留リスクとその対応事例
		実施している災害防止対策	重篤度	可能性	優先度(リスク)	追加のリスク低減措置案	重篤度	可能性	優先度(リスク)			
フォークリフト作業(運転・運搬)	入荷物を倉庫に搬入する際、誘導者が死角に入り、前進した際に入荷物が誘導者に激突する。	作業計画書	×	×	Ⅲ	①誘導者は常に運転手から見えるところから誘導するようにする。 ②動き出す際は声かけ・合図をする。	△	△	Ⅱ			
フォークリフト作業(運転・運搬)	フォークリフトにてパレット積みの原料を原料置場に置き、後退した際に後ろを横切ろうと飛び出してきた作業員に接触する。	防止対策未実施	×	×	Ⅲ	①後退する際は目視・指差し確認を行う。 ②作業中のフォークリフトの周りには近づかないように教育する。	△	△	Ⅱ			
フォークリフト作業(運転・運搬)	パレットに積んである缶製品を倉庫へ搬入、2段積みのためパレットを上昇させ前進したところ製品が崩れ落ち誘導者に当たる。	防止対策未実施	×	×	Ⅲ	①固定バンドなどで製品を固定し製品を安定させる。 ②ツメを最大まで広げることがを徹底する。 ③誘導者は少し離れた所から誘導する。	△	△	Ⅱ			
フォークリフト作業(積み込み)	パレットに積んだ製品をトラックに積み込む際、作業員がパレットに足をかけたとき、パレットがグラつきバランスを崩した作業員が墜落	防止対策未実施	△	△	Ⅱ	①積み込みの時パレットをトラックの荷台に置いて作業 ②ツメを最大まで広げ、パレットにしっかりと差し込んでいることを確認する。	○	○	Ⅰ			
高所作業(その他)	高所での作業中、足場の隙間からナットなどが落下し近くで作業を行っていた者に接触	防止対策未実施	△	△	Ⅱ	①足場にダンボールなどを敷き隙間を埋めることで落下を防ぐ ②高所にて作業しているものがある場合、近くに立ち入らない	○	○	Ⅰ			

【災害の重篤度】 ×=致命的・重大 △=中程度 ○=軽度 【発生可能性】 ×=頻繁・可能性が高いか比較的高い △=時々・可能性がある ○=ほとんどない・可能性がほとんどない

【優先度】 Ⅲ=直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。 Ⅱ=速やかにリスク低減措置を講ずる必要のあるリスクがある。 Ⅰ=必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。

※災害に至る経緯として「～なので、～して」+「～になる」と記述